

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 富士宮市立富士宮第二中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒418-0068

静岡県富士宮市豊町 1 7 番地の 1

E-mail jh-ni.ht002@fujinomiya-shizuoka.ed.jp

Website www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 155 名 女子 145 名 合計 300 名

幼児・児童・生徒の年齢 13 歳～ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校の「総合的な学習の時間」は「富士山学習」と名付けられ、25 年間の活動の歴史をもつ。生徒は、世界文化遺産である富士山やその構成資産である富士山本宮浅間大社を中心とした地域の特色に着目し、そこから課題を発見し、主体的に解決しようとしている。「富士山から学び、富士山にかえす」をテーマに、1 年次では「課題設定」、2 年次では「課題追究」、3 年次では「課題解決」という 3 年間の活動の流れを通して、「課題を設定する力」「体験や情報を生かして課題追究する力」「他者と協同・協力して課題解決する力」「学んだことをわかりやすく伝える力」「自分の学びを的確に評価できる力」を身に付けることを目標としている。この「富士山学習」を当校の ESD の活動の中心に据え、生徒会活動、教科学習、地域行事の参加等において、「環境・防災」「福祉」「国際理解」「文化・芸術」等に視点を置いてきた。

① 総合的な学習の時間「富士山学習」

- ・2 年生が、各自の調査内容をもとに地元の活性化に向け、特産物を生かしたお菓子を考案した。地元の専門家からのアドバイスを受けながら、材料や形、商品名に至るまでの全過程に取り組んだ。また、他県や海外の中学生にもス

カypeやメールを通して、作成したお菓子に対する意見をもらった。市内全体で行われる富士山学習発表会では、市民文化会館のステージにて考案したお菓子を披露した。

- ・生徒自身の追究内容の発信や学びを深めるための比較・検討のために、韓国の中学校とのスカイプによる交流や福井県の中学校へのインタビュー活動を行った。これにより、他地域や他国へ目を向ける良い機会となった。また、英語学習への意欲の高まりにもつながった。

② 地域行事への参加

- ・地元の夏の恒例行事「宮おどり」に今年度も全校で参加した。地域住民が考案した本校独自の「バチ踊り」を披露した。
- ・富士山本宮浅間大社周辺で行われる秋の例大祭では、多くの山車が引きまわされ、競り合いを行う。県指定無形民俗文化財に指定されている富士宮囃子に生徒の多くが参加し、伝統文化の価値を体験する場となった。
- ・全校生徒が、休日に行われる地域主催の防災訓練へ積極的に参加し、災害時に中学生ができることを考えたり、地域の方との交流を深めたりした。また、富士山本宮浅間大社内の湧玉池や神田川一斉清掃ボランティアに地域に住む生徒が環境を守るための活動として参加した。
- ・地元の特産物である「にじます」についての調査活動を富士山学習で行ってきた生徒が、地域主催の「にじます祭」において、学習内容を発表した。このように学校での学びを地域に発信することを心掛けてきた。

③ 生徒会活動

- ・5月と11月に実施される富士山本宮浅間大社の祭典後、生徒会活動の一環として、学区に位置する本校生徒が隣接する小学校6年生と共に、早朝に浅間大社内のボランティア清掃に取り組んでいる。55年の歴史をもつこの活動は、露天商にも知られており、ゴミの散乱防止の工夫もされ、美化意識の向上にも一役かっていると思われる。
- ・特別支援学級では、社会自立を学ぶ目的で「福ろう製作所」という疑似会社を設立している。幸せの鳥「フクロウ」をモチーフにした切り絵製品を製造販売することを通して、働くことを体験したり、金融について学んだりした。また、東日本大震災の支援活動や、災害被災地への義援金の送金等、社会貢献活動も行った。
- ・ユネスコ委員会が、ワクチン支援に協力するため、ペットボトルキャップの回収を全校生徒に呼び掛けた。



①韓国とのスカイプ交流



②全校生徒による宮おどり



③「福ろう製作所」による切り絵製品の販売



③生徒会主催による浅間大社清掃ボランティア

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可） レ レ

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

〈書籍〉 富士山の自然／富士山の美・富士山／中学校社会科地域学習資料 富士宮等
〈ウェブサイト〉 富士宮市ホームページ・ユネスコスクールホームページ 等
〈パンフレット等〉 富士宮市防災マップ／世界遺産富士山等

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校は、ユネスコスクールとしての活動の中心を総合的な学習の時間ととらえている。年間を通し、1年生は55時間、2・3年生は72時間（毎週1～2時間）を設定し、計画的かつ継続的に行っている。基本的に生徒各自が、1年次に課題を設定し、2年次でその課題を追究し、3年次では、その課題を解決し、発信する流れである。その3年間の活動の中でスキル学習（取材の仕方、手紙の書き方、アポイントの取り方等）、中間報告会、校外学習、体験学習、卒業発表会等を実施し、主体的に他者とかわりながら学んでいく活動にしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるためどのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内分掌として、総合的な学習（富士山学習）主任とユネスコ主任を設置している。さらに各学年部から総合的な学習兼ユネスコ担当者を決めている。管理職を含めた担当で毎週部会を開き、各学年の活動の進捗状況や具体的な活動計画を確認し合い、学校全体として活動の全容が共有できるようにしている。また、3年生全員が一人ずつ各自の学びを発表する卒業発表会には、目標とする生徒の姿を共有化するために全校生徒や全教員が参加している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

3年生は、課題の追究結果を一人ずつ在校生や保護者、地域の方へ伝える卒業発表会を行っている。この活動を通して、互いに質問し合ったり、コメントを言い合ったりしながら評価を行った。また、2年生は、活動の内容・経過・提案を市内全体で行われる富士山学習（総合的な学習）発表会において、ステージで発表を行った。他県の中学校や外国との交流活動に対して高い評価を得た。

ユネスコスクールに登録されたばかりであるため、今後ユネスコスクールとしての評価の仕方について確立していくことが今後の課題である。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

2 年生は、地域の活性化に向け、各自の調査内容をもとに特産物を生かしたお菓子を提案するために、専門家からアドバイスを受けて、他県や他国の中学生からの意見を参考にしたりしながら考案した商品を市内全体で行われる富士山学習発表会にて紹介した。人とかかわる中で得た知識や情報をもとに、仲間と協力し合って新たな物を創り出した一連の活動内容とそのプレゼンテーションの仕方に参観者から高い評価を得た。本校の ESD としての取り組みに関心をもつ他校の生徒も多くいた。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

今年度は、正式登録されたばかりであり、特に学校以外の団体との交流はなかったが、ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム成果報告会へ初めて参加した。それにより、他団体の活動内容を知ったり、今後の課題の共有化を図れたりしたため、次年度も ESD コンソーシアムが行う事業に積極的に参加し、学校以外の団体とのネットワークを形成していきたいと考えている。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

韓国との交流では、スカイプや郵便、Eメールを通して、数回交流を行った。英語学習の実践の場ととらえ、1 年生は、クリスマスカードの交換、2・3 年生は、日本文化紹介を英語でプレゼンテーションした。相手校からの文化紹介も聞く中で、互いの内容に対して質問をし合った。これにより、生徒たちは日本または地域の良さをあらためて感じたり、コミュニケーションを取ることの喜びや価値を見いだしたりした。また、交流により、相手国はもちろん、他の国にも一層興味が高まってきていることも確かである。